

KODAK Color Control Patches

© The Tiffen Company, 2000

LICENSED PRODUCT

Kodak

Blue

Cyan

Green

Yellow

Red

Magenta

White

3/Color

Black

A 1

2

3

4

5

6

M 8

9

10

11

12

13

14

15

B 17

18

19

輿地圖説拾遺

乾

ル 2

3287

10

0

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

此毛髮牛一云數尾也色白尾三切
 切ニ金物ヲ入テ寸リ毛多ク
 トモ甚輕ク俗ニ唐ノカニナリ

東照宮御筆之圖

此金物ヲ尾ニカセ赤銅ナリ

此草深ク此金物ヲ尾ニカセ赤銅ナリ



一 柄長ニ分テ下ニ銀ノサカハ有テ木ノ唐筆

旁銀ニ目
 金白

此草深ク
 此金物

門ル2
號3287
卷 10

廣東と距るこ
一里半ありて
海上小一萬四千
餘の船と連ね
浮め栖止し烟礼
葬式その外も
陸上の人民も
異なることあり
家業の諸荷物の



西洋人選速譯本

輿地圖說拾遺

雲峰閣藏梓

運送と生計と

○次の繪の和解
廣東の繁昌の諸
州の商館ある故也



岸頭は商館倉庫
城寨のどく 歐邏
巴国々の旗
章と立並べ其
景河底ふ移り
宛も水中ふ城
寨あるが如し



廣東內府巴諸州商館之圖



萬國輿地圖説拾遺

漢土補

此疆界宏大^一て人民繁衍^一其所屬韃靼地方と合^一と^一其地の廣袤歐羅巴全洲^一と勝る^一こと^一の本編中既^一と略記^一と其長城以内の記載^一又^一至^一ての何^一ぞ西洋書^一と待^一ト但^一西人躬自^一ら其疆^一又^一至^一り其都^一又^一入貢^一する^一と以^一て其土地人物^一と評^一どる^一ふ至^一ての間々^一或^一の異聞^一なきにあり^一故^一又^一其書^一の大約^一と翻^一して博識家^一考證

昭和四年九月一日
不洋氏贈



の一助又備ふ若しその事實の記載せり者と
詳りに知んと欲せば支那風土記とつくるあり
就て見るべし

此大州の北部は長城あり其連亘するること獨逸
里法よりて四百里我國の七百五十餘其高さ二十
五尺其壁の厚さ亦二十五尺は下らば此を以
て往古より北夷の疆を限る其壁の重厚と城の
連亘とを論じると凡の誰人々之を愕然せざらん
や其蜿蜒するの間或は直立五千二百尺の高嶺

又跨り或は無底の深谷を越して造築を其城の
上如々に樓櫓あり又三角形は斗出する牙壁
あり警卒常は之に居住を其一如と鎮護する人
員八十人より百四五十人に至る斯の如き場所
七百五十餘里の間あるものと百と以て數るべし
此造築の宏大なるは實は五世界奇觀の一と居
るべし但し近世に如く破損したる所少くは
惜むらくは再造の力をなく遂に零落して礎瓦
と存するのとならば

オナオウル
イダヘウラ

氣候の大州を以て彼此太ど同トクバ大約
北方の酷寒山上の宿雪あり遠望とれば玻瓈或
の硝石の如し是を以て寒熱人畜ふ可なるの僅
又二三月ふ過ぐば其中部諸州の如きの氣候常
に適宜ありて土地太ど豊饒なり其南部の温暖
ありて冬とワへども冰雪と見ること甚ど稀なり
夏月の如きの熱度印度地方小殊なること又其
土地膏沃ありて五穀と産すること極めて饒多
邦人皆米と常食とに惟北方の大小麥を以て

米又代ある所あり

邦人奉信とる宗旨多し其神と貴
ぶ像と見ると首尾相適とる或り頭の美人あり
て下體の鱗蛇或の首の常人又似て其腹肚鼓脹
宛も水腫病の如く或り頭太ど長大ありて下
體の常人の如きもあり其甚しきに至ては神像
又龍猊と合體とを其他異像拔擧とるは邦人
斯の如き殘廢の醜體を寺院の中央に列置して
敬信とること印度人又殊なることあり

邦俗皇帝ハ無二至尊の君トシ或ハ之ト太陽の
血統ト稱シテ尊敬スルコト全州皆然リその政
道の如シハ一定の法規ク皇帝ト權臣との意
匠ニ依リテ或ハ輕科ト死刑ニ如シ重科ト放逐
シ或ハハハ許シテ問ハズ者アリ然モ近
世の康熙帝ハ此州往古ヨリの法度及ビ孔夫子
の遺戒ト舉ゲ己との意ト用テ折衷シ政道ト為
セト云

此州ヲテハ五穀殊ニ米ト其性命ト為ト以テ

田圃の制度甚ダ嚴密ナリ故ニ是ト區分スル夏
も亦甚ダ精微ナリ大約農民ハ其實の十分一ト
宦家ニ上納スルハ若シ之ト納ムル者ハ
ハ村吏其農民ト放逐ト若シ其歲時令不順
テ禾苗ニ蝗蟲ト生シ枝葉ト侵蝕シ其地方之
為メニ飢饉ニ及ブ様の事ハ法度アリテ是
迄年々貯ヘ置ケル穀庫ト開テ其飢死ト救ヒ來
秋米實の升ヲ待ビハ然モ縣令村吏常
ニ私慾多クシテ竊ニ其米庫ト開テ己との産ト

なり其金^{そのる}うて高^{こう}官^{くわん}と得^{とく}る者^{もの}多^{おほ}し斯^{この}の如^{ごと}く習^{しやく}俗^{よく}
ゆへ秋^{あき}穀^{こく}實^{じつ}ら^らる^ると^とれ^れの農^{のう}夫^{ふう}大^{おほ}く擾^{じやく}乱^{らん}と起^{おこ}して
他^た縣^{けん}に至^{いた}つて人^{ひと}家^かと掠^{りやく}略^{りやく}する者^{もの}多^{おほ}し邦^{ほう}人^{にん}之^のと
流^{りゆう}賊^{ぞく}と云^いふ

此^{この}州^{しゅう}に属^{ぞく}する韃^た鞬^{けん}地^ち方^{ほう}と合^あはれ^れる其^{その}宏^{こう}大^{たい}なる
こと全^{ぜん}地球^{ちきゅう}中^{ちゆう}に於^おいて人^{ひと}烟^{えん}繁^{はん}盛^{せい}と^とぶる部^ぶを十^{じゅう}分^{ぶん}
ありて其^{その}一^{いつ}と占^{せん}むと云^いふ之^のを往^{ひう}古^こ繁^{はん}盛^{せい}なる羅^ら瑪^ま
のタ^たラ^らヤ^やニ^にス^す帝^{てい}の領^{りやう}地^ち及^{およ}び歷^{れき}山^{さん}王^{わう}の疆^{きやう}界^{がい}は比^ひ
するも甚^{おほ}く優^{ゆう}なり惟^{ただ}往^{ひう}古^こ蒙^{もう}古^この成^{せい}思^し汗^{あせ}或^{ある}は特^{とく}

穆^{もく}爾^に所^{ところ}轄^{かく}する所^{ところ}及^{およ}び方^{ほう}今^{いま}の俄^{がく}羅^ら斯^しは比^ひする
一^{いつ}等^{とう}と讓^{じやう}するの事^{こと}
邦^{ほう}人^{にん}濫^{らん}り^りは自^{みづか}ら尊^{そん}大^{たい}ありて以^{もつ}て為^なら^る此^{この}洲^{しゅう}の世^{せい}
界^{がい}の中心^{ちゆうしん}なりと故^{ゆゑ}に誇^{かう}稱^{じやう}して中^{ちゆう}華^か州^{しゅう}と云^いふ是^{これ}を
測^{そく}量^{りやう}する小^{せう}長^{ちやう}城^{じやう}以^{もつ}内^{ない}の北^{きた}緯^い二十^{にじゅう}一^{いつ}度^どより四十^{しじゅう}
一^{いつ}度^ど又^{また}互^{たが}り東^{とう}經^{けい}は二十^{にじゅう}五^ご度^どの間^まにあり其^{その}廣^{くわう}袤^{まう}
八^{はち}萬^{まん}箇^こ里^り方^{ほう}積^{せき}西^{せい}人^{にん}此^{この}州^{しゅう}を知^し納^{なつ}と稱^{じやう}する根^{こん}元^{げん}は
甚^{おほ}く往^{ひう}古^こより事^{こと}なり即^{すなは}ち秦^{しん}の字^じの轉^{てん}音^{いん}なり
其^{その}秦^{しん}と稱^{じやう}する世^{せい}は彼^かの紀^き元^{げん}前^{ぜん}二^に百^{ひやく}六^{ろく}十^{じゅう}年^{ねん}より丁^{てい}

ると云。即ち我 孝靈天皇三十年の頃
本州人級と分つて四つと曰く士 農 工 商 闔
州の人民此四等の外又出で惟此州にての貴族
の子弟とりくども其身不肖あるとさし降して
庶人とす是を以て邦人貴族の子孫と尊ぶん
して有徳君子又ハ大ニ學術ニ達する者と尊ぶ
故ニ此等の人の大ニ高宦小選むる或ハ及第し
て闔州の政治を司どるに至る是を以て邦人四
等の民共ニ學問と勉強する事と五大洲中ニ冠

り惟惜むべしハ學者多ク度數及び世界の學
に通せど此と此州の缺典とハ
皇帝の位ハ一定の法則あり必ズ血統の男子と
選で其後を受へむ但し其太子と定むる者の生
年の前後又抑るの事又あはれ又闔州兵馬生殺
の權ハ皆皇帝の掌握中にあり決して是と其臣
下又委任せど帝常々自ら誇稱して曰く朕ハ皇
天の子なり
此州の政事も一種の亞西亞風ありて一定の規

度どあつることなり然しかまども間々まじ其祖先そのせんぞ堯舜ぎょうしんの遺い
法ほうふ則すなはり又また孔夫子こうふつしの謨訓ぼくんふ本ほんづと一いつ種しゆ適てき宜ぎの
政せい度どとをなすことあり皇帝こうていの行狀ぎやうじやうハ皇天かうてんは則すなはち
りりて幾微すこも偏倚へんいのことなりと云へり然しかまども共とも
其行幸そのぎやうきやうのと死路しじゆ傍かたわらは在あるに敬けい跪かひ匍ふ伏ふくせざら
者ものハ皆みな檢けんて死刑しけいは處よす少すくくも假借かりかり愛憐あいれんとるこ
るは是これ亞西亞あしや人の殺伐ころころなる通弊つうへいなり
皇帝こうてい常つねに闔州かんとしゆの礼樂れいらく刑伐けいばつと已おのまが隨意すゐは行なひ
其大臣そのだいじん宰相さいしやうといへども其意慮そのいりょに適あはざると死

に直ちかし獄ごくに下くだり或あるは死しふ處ところなりこと歩卒ぶそつ蒼生そうせい
ふ殊ことなるとる然しかまども時ときりてハ其大臣そのだいじん十
人餘よと選えんで闔州かんとしゆの政令せいれい及び外國がいこくへ通信つうしん等の吏し
掌握しやうぎせしむることあり
邦内はうないに居住きよじゆとる人民じんみん甚おど増多ぞうたなりと以もつて相互あひあひ
は有無あつたふたふたと互市あひあひすること極きまめて繁昌はんじやうあり外國人がいこくにん
の此地このちに來きりて互市あひあひとる比倫ひりんはありは邦人はうにん其
性せい傲慢がうまんありて虚誕うつたへ多おほしといへども國外がいがいの利益りやく
と考かんがへ又能またく其本業そのほんぎやうと勦勵せんれいすることハ英吉利えいぎれ

人も及ばざる所ありこそ此州の他邦は勝り百
貨備らざるのなき所以なり

我國の天保二年英吉利國の使節北京府に來貢
せしと記し滞留中眼前見聞する所の奇事と日記
とありて其本國に贈る其記に彼八月より始り
十二月に至りて止む和蘭國使節のごときも北
京府に入貢せしこと三度あり中より就て我國の
文化六年其王命と奉じて北京に到りし者宿病
ありと號して其地の逆旅中より滞留し頗る此府

内の風俗と詳々にすことと得たり今其日記中
より一二の奇事と抜抄して普く諸州人に告知

しむ
支那國內あり人民繁衍すること極めて盛なり
とりへども貧困の徒最も夥し其窮迫太し者
の慄然として目視るも恐びざる者あり冬月酷
寒の時不至ての夜間貧民相聚り互に重疊し或
は終夜篝火と燒て其死と防ぐ惟其病夫老婦
は時として凍死を土人其屍と取りて橋下堤側

中^{ちゆう}又^{また}投入^{とうにゅう}を然^{しか}まども官吏^{くわんじ}之^をと詰問^{せつもん}せし又^{また}英人^{えいじん}の説^{せつ}又^{また}曰^{いは}く支那^{しな}國^{こく}にては乞食^{こじき}と殺害^{ころは}し棄つる^すこと頗^{すこ}る多^{おほ}し余^あ北京^{ぺいじん}府^ふに滞留^{ちゆうじゆう}せしとき親^{おや}しく其^{その}殘忍^{ざんにん}なることと見^みしと云^い是^{こゝ}の如^{ごと}き惡^{あく}き風俗^{ふうぶく}なりと以^{もつ}て病者^{びやうしや}殘廢者^{ざんぱいしや}の如^{ごと}き皆^{みな}道路^{だうじゆ}又^{また}立て錢^{ぜん}と往還^{わうわん}の人^{ひと}も乞^こふ又^{また}近來^{きんらい}北京^{ぺいじん}に來^きり弘法^{くわうぼう}使者^{しや}の言^{ことば}又^{また}曰^{いは}く貧者^{ひんしや}路傍^{ろぼう}と徘徊^{はいかい}して食^くと他人^{たにん}に乞^こふとけい^{けい}の或^{ある}腹痛^{ふくう}堪^たが^がき景^ま狀^{じやう}とる^る或^{ある}は手足^{てあし}殘廢^{ざんぱい}して歩^あ行^{かう}なりけり狀^{じやう}と為^なし其^{その}最^{さい}も

滑^{あつ}かる者^{もの}の故^{ゆゑ}らに其^{その}女^{によ}の眼^めと損^ふし其^{その}母^{はは}自^{みづか}ら之^をと携^{たづ}へ哀愍^{あゐみん}の情^{じやう}と切^きりて多^{おほ}錢^{ぜん}と乞^こふ者^{もの}あり又^{また}の其^{その}愛子^{あいし}と宮中^{みやちゆう}に賣^うんが為^{ため}り男^{おとこ}根^ねと剪^きりて之^をと閣^{かく}宮^{みや}とて其^{その}身^みの榮^{さか}と謀^まる者^{もの}あり此^{こゝ}惡風^{あくふう}の起^{おこ}り州内^{しゅうない}に幼院^{ようゐん}病院^{びやういん}の設^たけり故^{ゆゑ}なり又^{また}州内^{しゅうない}に幼院^{ようゐん}なると以^{もつ}て貧者^{ひんしや}其^{その}子^こと養育^{やういく}すること能^{あた}らば其^{その}稚子^{ちやくし}と道路^{だうじゆ}に弃^する者^{もの}あり北京^{ぺいじん}府^ふの如^{ごと}き一年^{いちねん}捨^する所^{ところ}の兒^こ數^{かず}と記載^{きざい}する時^{とき}の大^{おほ}

約九千人と下らんと云之を一歳中と比例せん
毎日二十四人下らんと一友人北京に至りし
と早朝は政廳より人夫を出し車と引て市街
上と往還し死兒又の半死の者と収め其屍を他
の濕陰地と棄ると見しと云然れども此州初て
國と建る時の制度の極めて質實敦厚なりと見
へて上の皇帝貴族より下の萬民奴隸に至る迄
其親小孝養と盡し長者と尊仰をすること全世界
中此州小如く者なり是一支の支那人の爲小言

どんハありてくうくうと
邦内は磁製の高塔あり此全世界中人の知る所
なり今其塔と觀るは惟表面との磁板と覆ひ
し物ありて其實ハ然るはありて惟奇と云ふその
漕河なり英國人の説は曰く漕河ハ人カス成
くる物ありて其流注する所六百小時行餘の内
部は及ぶの六百小時行ハ我國の里法よそ大約
八百四十里餘の故は其長途中黄河揚子江等の
大河を過ぎ海は雙で之と穿開を其百穀諸物と

運輸もろろ風波運浪の難なく最も便利なり
邦内の人民皆方今の政刑に服属して異心なれ
にありぞ其證ハ歐羅巴より此地に來てテリア
ス教法を弘ひる徒の説曰く邦人竊小此法教
の事と尊信とを稱して其社中の一箇の君長と
立て之に従事とること最敬慕なり是君長の惡
念ハ邦人稀に察知する者ありと虽ども滿州種
の大小政官ハ決して異圖と知者なく其君長の
大主意を察するに滿清夷の朝廷と傾覆して正

統皇帝の孫胤を建て常不滿清を恨むること深く
骨を刺すに至ることを滿清帝に知しめんことを欲と
るふあり
邦内ハ廣東府と稱する繁昌の市街あり其府の
周圍ハ大河あり又三匝の長堤ありて本城の堅
めとを其城造築堅實ありて旅客注目せざる者
あり然れども洋炮を受て破砕せざるといふは
あり此府大約三分の一ハ市街ありて以て
密間ハ佳致あり園亭と見る又ハ人工おと成る

流溝或ハ諸魚と畜ヘテ庭池を見る此府の兩
邊小阜山あり遠望せんバ密樹鬱律して頗る深
山の風致あり府内歐邏巴人の商館あり惟國法
嚴酷ありて他邦人の隨意ハ散步ナラズと堅く
評さん

府内の市街人烟擗比する所極めて長し其街上
小ハ小沙磧と布ミ彼此百物と運轉する小便を
或ハ本店より別店不至る間小假舎と造り其内
と往還を店裏ハ百貨と連置し客の來ると待

つ又富家ありて廣地と占め兩三店と造る者あ
り第一店の外ニ面する處ハ常に開て商賣と為
そ其物件ハ多くハ凡様の磁器なり第二店ハ高
價の磁器と貯へ三店ハ各色の織物天鷲絨等と
商ふ若し四店ある者ハ茶葉と商ふと云平常の
商賈ハ二店のとありて一座ハ磁器一座ハ諸物
件なり
本府内ニ一種異様の商賈と為て市街あり每家
に商ふ物品皆同ドクハ或ハ各色の毛氈と鬮鬮

ど又ハ顔料及び筆墨文具等の諸種ありありありハ
白日ハ人衆と呼集め諸般の戲藝を演し又ハ賣
薬と為る者あり又長街ありて屈曲しつる巷あ
り每家鶏卵と鬻ぐ中ニ就て大家ハ一百万餘の
鶏卵と積重し置くに見るこゝあり本府ニ來往す
政官ハ多くハ皆滿州人なり其人員大小官と合
して二萬人府内の民口一百五十萬餘本府斯の
如く人烟擲比と雖ども支那全州中うハ此府
小勝る地尚多りるべし但し政官の遊民と他の

空所又移とこと為故又闔州貧困ありて
衣食給せざる者多し其甚しき小至てハ男女嫁
姫の期と失ひ遂ニ生涯定りつる夫婦と為る
に至る
本府と距ること一小時行ありて港内ニ動搖を
る市街あり此ハ大約一萬四千餘の大小船舶と
排置して能く連綴維繫し中間処々一一條の巷
路と通し海舸の彼此又往還するに便と其船上
小栖止るる人民ハ舸上ニ茅と菅と雨露炎熱と

防ご生涯他所より移轉するることなく其中より
て嫁娘生没葬祭より百事と經營するに至る迄
陸地の風と殊なることなりその産業は皆毎日
諸物と負擔し雇錢と取と以て生とて唯歎くべ
その政官又定法ありて此人民の廣東府より居住
とると許さば

本府の繁昌の第一歐邏巴諸州の商館ありて也
其館は此地と貫流する大河の岸頭と浴て遠く
數丁の外又聯絡を然まども間々或は園庭倉庫

流溝ありて彼此を限り又は木柵ありて非常と
戒む其景状宛も小城寨の如し中又就て宏麗堅
固なる館の英吉利又如くいな其毎館旭日の
昇る、とれより西没するに至るま各々の旗號
と高標し微風又閃揚せしむ美日の如き館影
倒し河底に映し景色殆ど水中に城寨有て然る
者の如し
我天保六年の冬月廣東政廳より嚴に命令と下
して英吉利佛蘭西及び北墨利加の商船は自今

以後決して來販することと許さん惟和蘭國の
船へ舊く依て來て貿易せしむ此全く和蘭より
置所の加比丹臨機應變其室と得しをんとて
諸州人欽慕せざるはなす其翌年瓜哇の總督祖
家和蘭へ支那と通販して利益あることと記載
し送りたり其略と見るは和蘭より廣東へ通販
する船隻は定額三艘なり其中は運輸し來る所の
の物件は是班牙國の五萬零四百十九「マ」の價
あり此品と支那よりて交易し歸帆のとれは是班

牙の「マ」ト五十萬零三千小價する品物と獲積
乘せ歸ると云中は就て夥しき者の茶葉なり
英人此州は阿片を輸ることと數回禁止せらる
と虽ども其制度を用ひざる其輸る所の數一年中
二萬一千零六十二箱其價は是班牙の「マ」ト一千
三百九十一萬七千四百二十六又當る其利益極
めて夥し廣東の政官は此事故を知といはざる
許して問はざる却て密買することを謀るに至る
歐邏巴及び北亞墨利加人此州は通商して獲る

所の物品の第一茶葉其數二千五百萬ホンド。
一ホンドの我國の百二十八匁。其他大約磁器
諸帛南京布樟腦盧會綿擦皮等西洋より齎し至
る物品の毛織諸品鉛鐵葉洋刀皮革等
支那の定法ありて外國人と内地又入まざるもの
甚ど良策と云べし。惟邦人自己の發明のそあり
て外國人の智慧と借ることと知らば故又天地
の學科術藝等の事に於て他州人又劣ること少
なりし也。

媽港支那人此地と魯門と云葡萄牙國埔頭と
係る其地形海中又斗出しより端島ありて鷄
頭と相隣る其大陸より此地と連る地峽甚ど
狭くして横徑三百尺と過ざば其處又支那國
より牆壁郭門と造り且つ兵卒と遣りて衛護
と故又葡萄牙人決して境を越て内地と入る
こととを得ば此端島の周圍八里あり。○此八里
を我國の十四五里と丁る。○此地の西邊ハ土
地卑しと虽ども東部の皆巖石なり部内又寺

院五あり造築頗る美麗なり葡萄牙人此地に
寨柵と構へ其港内より大砲數門を置き三四
百人の軍卒を遣りて非常を戒しむ然れども
其兵は本国の人種より天竺の卧亞より
來ると云

廣東府の大河海小注ぐ處に巖石島嶼數多し
又て雜落を其中に香港島あり極めて好輿脚
なり其地の廣袤大約縱八里ありて其幅は五
里に過ぐ其阿媽港と距ること東方四十里許

ありて廣東府より東方一百里の処にあり
此香港の度數は北緯二十二度十七分經度を
一百十四度十二分の處にあり今と距ること
七八年前の比支那と英國との戦争ありしより
此地を割て長く英吉利國に投じて和儀を結
ぶ而して後の英國より此地に城寨と築き又
大小政官を遣て市街と造築し廣く萬國に諭
告し何州々ても來て商館を營し交易すること
と許し又課金運上等の舉あることなり是を以

異邦船舶輻集一來て一日ハ一日ヨリも繁昌
の地となまり我天保十三年の人口一萬五
千又下らざと云

知納國各省人員
北部諸省

直隸 三百四十萬零二千人

山西 一百九十二萬零一百四十二人

陝西 五十八萬二千人

山東 二千四百八十四萬一千五百零四人

甘肅 八十四萬人

中部諸省

江蘇 二千八百八十五萬三千七百九十八人

安徽 一百十四萬八千零二十三人

河南 二百六十一萬四千人

江西 六百十二萬七千四百二十五人

湖北 七百八十一萬三千人

浙江 一千八百九十七萬五千人

福建 二百三十一萬二千人

湖南

古名湖廣 二千四百十三萬二千四百八十八人

廣西

二百零一萬八千人

雲南

三百二十萬零九千人

廣西

三百零八萬一十人

廣東

三百六十萬零四千人

各省人員一億四千五百四十五萬六千八百零九人此他船上小生業と為る者二百四十一萬

八千二百三十七人海陸の軍卒及び文武官と

合して一百三十九萬四千零二十人此數外小

異邦及び屬國小投入一或ハ西客の役夫と

り諸州に任居する者一十萬小下らば其諸

州の韃靼圖伯特朝鮮臺灣琉球本邦杜爾格

斯堂亞爾默泥亞瓜哇聖意勒納喜望峰伯西兒

佛蘭西為匿亞撈葛刺印度等なり

前印度總論

按ずるに此地地方莫卧兒帝亡滅の後ハ分ち

て數國主となり中又就其勢威あり者の割據
して覇と稱し其兵刃西客不敵せざる者の山
部不避隱きて僅又其地の酋長となる其最も
不幸なる者の全國と奪領せしむ遺礎斷碑の
と存する者あり但恨らく其變革輓近不
出ると以て其事實と詳記するの書不之し今
其概略と見さんぐ為し四五部の洋書不就て
抜抄し本篇の缺遺と補ふ其後印度地方の如
とも小改革無非也然も本篇舉る所列

國中は於てハ興廢の正とあり故と以て此篇
是と略と

獨立諸國四

際苦私 滿刺甸 ラスビツテン 一名デニス

ニパウル

英吉利所轄國三

葛爾新太 麻訥刺斯 網買

中立縣四埔頭八

デカン ヲウデ メイソレ 各正

佛蘭西埔頭 葡萄牙埔頭 身那瑪爾加埔頭

涅埵爾蘭土 耶和埔頭

獨立諸州

際苦私ハ前印度の中部不在て獨立不羈の強國
なり然まども國主酋長ありて此大國を保全を
るふもあつば然まども閩州皆共和の政治あり
て偏倚ありことあり今と距ること十五年前の
比まづい國中の賢者を推て政官とすといへ
ども衆人互ふ其中心小積忌の念深さと以て遂

小綱目 癸卯一軍旅のこゝに至てハ全國の民一人
も其身を棄て敵小赴く者あり故と以て英吉利
の爲又屢々領地を奪とれ後ハ都府ヲホしと
陥らる今と距ること九年前の比婆羅門派の一
僧此地小來て衆小諭して曰く我智能く雲を起
し火を降し又能く敵を殲とぐ一衆拜して大都
督となし急ふ七萬の單兵を興し英吉利の城寨
小逼り鏖戦とること二小時即我國の一時是日
天日茫昧黒雲中小電光ありて閃爍を其景況僧

の言の如し是と以て衆以為く軍勝りと遂に進
で其外郭及び港脚不抛り留連すること二日些
少も敵の謀略中不陥ると知らば悠然として敵
の出ると待つ越て一日城上不一發の砲聲発を
るや否其地中より地雷火震動し出て即死を
者七百餘人傷損者の如さの敷と知らば彼の僧
將軍も砲矢の下不死を此舉や際苦私軍卒命と
全して界と越へて歸ると得る者數千不過るん
是不於てアミリーセルトワク〇以上地名〇

等の盛府皆英國の領知となり後三年ありて土
人大小會合一征伐軍旅のことと議し中不就て
徳望ある賢者推てラヤスシシタルスと為し〇
大政官の義なり〇又三豪傑と擇でラヤスコ
タルとあり一歳中八度大會議を為し國の得失
強弱を論ト一會毎に一二人の賢者を擧げ用ふ
と云一説小曰此國方今の英國と和し侵地二府
と復るとあり闔州の首府とラホレと云人口十
五萬浮屠の學校及び工作場ありより船材を出

と闔州廣袤四千箇里方積人口四百五十萬產物
近隣諸州不殊なることなり
滿刺甸ハラスビツテこの南部不在る強國なり
此地不加得山脈ありて蟠屈を州内牧馬極て夥
しと以て軍隊ハ皆騎兵なり土人剛強ありて
戰鬥と好む死と懼まば能く馬上又火繩銃と放
つ但智慮不乏

ラスビツテこの地ハ際苦私の南部不在る一共和
政事州なり此強國往古より卓立して有る不非

と莫卧兒帝滅後此地方ハスカツペルカナダ
ラデーヒルナゴル地以上等と合して一州と為し
新ふ此國名と命じ以て英吉利の内部地方と掠
略せりと防ぐ惟其國人ハ暗小工場を作りて
産物を集め英國商館不至て交易せりととり
闔州廣袤二千八百箇里方積人口三百萬
ニパウル安日河の西部不あり國なり其疆界北
ハ圖伯特に至り南西ハ英吉利領不界を其他ハ
皆大山脈ありて蜿蜒蟠屈を故要害極めて堅固

たり惟道路哈呀ハヤなりを以て行人の此州ココノチ不入んと
とる者苦楚クツ萬狀マンザウなるふあつごまば至ること
能く此ココ地膏沃チコウバクありて農耘ノウゴンをぐといへども
意貌山連續イボウサンレンゾクの所トコロありを以て海面ウミより高さ夏
三千尺より六千尺ミヅに至る故は氣候粗々ヘビヘビ赫勿ヘクブツ薯
亞國ヤクニクに似たり産物銅鐵水晶山米小麥大麥玉蜀
黍コシ泊笑藍吉貝ハクシヤク醇粹阿片ジュンサイアヘン獸畜麝香鹿象虎其他
猛獸あり土人性稟善良百事ヒツツ不勉強ベンキョウして勇氣あ
り又文學ブンガク不耽チカる府内フチノ不文庫ブンコあり一萬五千餘の

書籍と藏クラを但邦人大事オホトク言凶の事故あり不臨ん
て佛説ブツトク不委チカね或ある星象ホシゾウ雲霧の景狀禽獸の啼
聲等ナゲを以て妄マヤカ言凶の判断ハズメと為し天地自然の
道理チあることを知らん全州ゼンチウの人民三四種シヨウは過スグて
其民皆佛教と尊信ソウシンすること印度インド中チュウ於オケて最も
頑陋クワンロウなり是を以て一男子死シるとその其婦メノも
者夫の屍シと束薪ツクシの上ウヘに置カケて火ヒと放トクち自ら火中
不投チカして焼死ヤケシとあるいを其親子疾病ありて生
死分シつべりヤケシと死シの親族相聚シンゾクカウり昇ノボりて

安日河小至りて沐浴せしめ或ハ深淵中ニ沈め
又ハ逆流の下小投じて生死と試む若不幸あり
て死イカサキガとるとさハ皆悦びて以為此河うて死とる
者ハ直ち又佛前小至り無窮の榮花と受け其再
生とるとさハ必も王候大人ありさハ琉璃珊瑚
琥珀玳瑁等と所持する豪富者となりて其惑
説大約斯の如し土人生業ハ第一木綿と織り又
ハ鐵器銅器刀劍と造るに頗る妙あり其風俗已
まの尊奉とる寺院前小ハ必も鯨鐘と鑄造して

掛ると云全州の首府とガドマンツールと云人口
五萬七千工場及び學校あり府内シシブヒナ
トの寺院あり造築美整なり近隣諸州小名高し
中不就て圖伯特人の最も此寺院と尊信し大山
脈と攀躋りて來拜とる者常小多しと云全國人
民二百萬廣袤四千三百箇里方積部内シリナギ
ル府と稱する地人口五萬ゴルカ府人口八萬
英吉利所轄國
東印度小あり英國所轄の州郡ハ悉く沿海

の地方ありて人烟繁庶百貨輻湊一土地皆膏沃百穀一歲中不再收或ハ三收をぐ一其所屬州の人口往時ハ五十五萬方今英領と成し後ハ植民繁衍して一千七百萬餘ふ至る其大政官ハ英國より來往を其州郡と總括するところハ廣袤里方二萬箇積ふ減ぜども葛爾祈太此政所ハ舊と傍葛刺の首府より方今ハ英國の大政官來往して交易軍旅の更と命令し又學校と建てて幼童と教導し訟訴と聽

と理非と分別を此府安日河の下流不在と以て全世界中の商船來津し帆牆林立して麻圃と遠望するが如し惟其港口ハ暗砂散在すると以て潮水の淺深と熟考せざるは直ハ商船と覆没するふ至る府内人家整美其府の周圍七小時行ハ七小時行ハ我國の里法より凡そ十里半の人口十九萬七千家數七萬八千七百六十支那人一萬三千餘稱して世界美府の一と云英人の家屋ハ皆石造りて堅實但氣候

炎熨えんぬなるを以て家屋鱗比りんひせど府内黒人の住居か十の市街あり呼よんで黒巷くろくちやうといふ即ち獵嗚奴りやうむら其屋いの皆大竹あり造營ぞうえいを極めて佳致あり城寨じやうさいの八十年前の造築ぞうちく不係ると虽もども其製五角そのせいごかく法ほうありて堅朴けんぱくなり外面そとの河流深溝かうのふかありて要害ごうと此城樓このじやうろうと府市との間あひだ又園庭あり酒樓しゆろう茶店と置おき散歩の遊所ゆすよとを美日ひよりふの印度本種人婆羅門いんどうほんしゆじん浪崑崙奴らうこんぬ及あび洋種やうしゆの白哲人此所しよふ來遊らうゆ一連れん社しゃ肩摩かたありひも醉まふ乘まして互あひ

小歌舞跳踊せうかぶを然しかまども其言語ごんごへ彼此相通あひたせむを惟ただ形状けいじやうを以て互あひ又然諾ぜんだくを土人どじん之と啞遊えあゆと名なく府内ふち小觀象臺せうくわんじやうたい又堅整けんじやうの大文庫あり其他そ地誌ちし航海術かうかいじゆつ歴史術藝れしじゆつぎ及あび諸文學しよぶんがくの大學だいがく横あり又嗎哈默まごめ教院きやうえんありて全州ぜんしゆの人民じんと教導きやうどうを邦人ほうじん一種いしゆの僻習へきじゆつあり其人そのひと富有ふゆうなるものと其屋そのいの粗こ又造ぞうる貧家ひんかの美整みじやう不ふ如ごとく但佛祭日ぶつさいにちふハ福有ふくゆうの者もの金貨きんがと惜おまを貧家ひんか不ふ惠ご投とうを產物さんぶつ茅か一阿片あへん砂糖さとう織物おりぶつ毛織もう五穀ごこく金銀きんぎん諸寶石しよたうしやく等此政このせい

所不ふ附ぶ属ぞくする州郡六あり第一ハ榜葛刺即ち本土もとなり

第二「バアハル」地ち名な其首府と「ハトナ」と云民口十五萬ごじゅうまん工場互市場あり「ハハル」ロタス府近ちかにあり

第三「ベナレス」部内「アルラハバット」と云地あり人口十五萬此ハ東印度中富庶の第一なり首府と「ベナレス」と云人口六十萬中ふ七千餘人の婆羅門派の僧あり安日河畔あんじがはに高塔と造る

輪煥美整其河水りんくわんびせいそくわんに臨のぞんで寶石の階級あり老幼の來り浴するき便べんうそ邦人常つねに此河水ここのかみに投なげて已往の悪業あくごうと懺悔ざんげを其惑見そのまどみに安日河あんじがにて死しする者ものハ其臨終そのりんじゆうのとき甚まことに快意くわいいありて一點いっの苦痛くつうと覺かへば再生さいせいの必かならずに天上てんじゆうに降誕かうたんし無量むりやうの壽じゆうを受うべし是こゝを以もつて佛祭日ぶつまつひの近ちか傍への人民來會じんみんらいかいして河水かみに投なげ流死ながしする者もの毎年まいねん千人せんにんふ減へぜど産物さんぶつ玻璃器はりきと第一だいいちとん茶葉ちやえつの産うをとども其味そのあじハ後印度産ごいんどさんの如ごとく毒どくあり

り飲のむべいうくはん

第四よヲらウテ地ち名な其その府ふとハ一いサハトトりふ人にん口こう

八萬

第五ごアガララ人にん往い古こハハ百ひゃく四し十じゅう萬まん方はう今いまハハ零れい落らく

して四十萬府内ふないハハ八はち百ひゃく餘よの拜らい觀くわん所じよありテル

ヒ府ふと云いありテ往い時じハハ人にん口こう二に百ひゃく萬まん方はう今いまハハ廢はい蕪ぶ

して二十萬

第六ろくヲらムサ一い府ふカカウウタタウウカカヤヤチちルる右みぎトトハハラ

ワラ府等ふとうありテ人にん口こう各おの々おの三さん萬まん此この地ち方はう駭おそくク人にん

